

外観



世界遺産である龍安寺の門前に位置した場所に立地している。周囲の景観に合うよう、建物は京都らしさを意識した意匠や、屋外緑化等を積極的に採用している。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面器の水栓金具は衛生面に配慮し、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。水の止め忘れがなく、節水効果も見込まれる。鏡下には、化粧ポーチや手荷物を置くことができる。

女性トイレ 大便器コーナー



赤い扉が印象的な大便器コーナー。大便器ブースの扉と間仕切りを天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。

トイレ 入口



トイレ入口のサインは体育館のコートラインを用いた半分の人型と、身だしなみチェックのために設置した全身鏡への映り込みを生かしたデザインを採用している。

女性トイレ パウダーコーナー



混雑緩和のため、洗面コーナーとは別にパウダーコーナーを設置。隣の人の視線を気にせずにお化粧直しができるように、個別鏡を採用している。

女性トイレ 大便器ブース



男女トイレとも環境に配慮し、2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた、壁掛式の自動洗浄小便器を採用。視覚障がい者への配慮として、1ヶ所の小便器の床には「京都府福祉のまちづくり条例」に適合する点字ブロックを敷設している。

シャワールーム



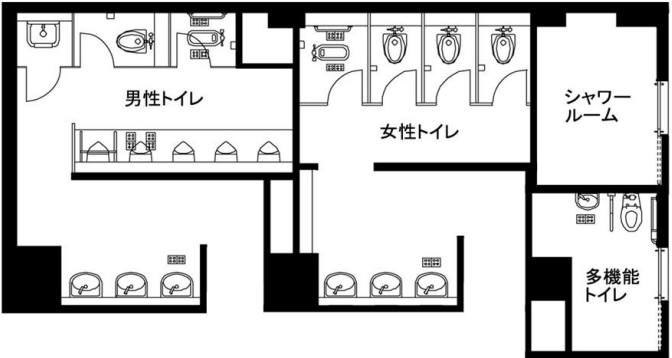
スポーツの後に汗を流すだけでなく、身障者対応として、多機能トイレの隣に車いす使用者でも利用できるベンチ付きのシャワールームを設置している。

多機能トイレ



災害時に避難所として利用する場合を想定して、多機能トイレを設置。L型手すりやはね上げ手すりのほか、オストメイトに配慮してパウチ・しびん洗浄水栓付背もたれも完備している。

図面



建築概要

名 称	立命館大学 衣笠キャンパス 京都衣笠体育館
所 在 地	京都府京都市北区等持院北町56-1
施 主	学校法人立命館
設 計	株式会社竹中工務店
施 工	株式会社竹中工務店
工 事 期 間	1期工事(新築棟) 2011年2月～2012年11月 2期工事(改修棟) 2012年11月～2013年9月
竣 工 年 月	2013年9月

水まわりの特長

<建物の特徴>
立命館大学では、2020年を見据えた学園ビジョン「R2020」に基づき、各キャンパスの質的アメニティーの向上に取り組んでいる。その一環として、衣笠キャンパスでは、老朽化した第1体育館と第2体育館を統合し、新体育館を建設した。衣笠キャンパスは、古都京都における風致景観を守るとともに、地域住民と共生する環境配慮型校舎の先導的プロトタイプを目指しており、新体育館も環境に配慮した設計となっている。地下3階・地上1階建てで、3つの競技場・練習場・格技場・柔道場、そして自転車1100台を収容できる駐輪場を備えている。そのほか、災害時対策として、備蓄倉庫や豪雨に備えた雨水ビットなども完備している。みやこユニバーサルデザイン優良建築物マーク交付建築物でもある。

<トイレの特長>
地下深いためホワイトを基調とした明るいインテリアとしている。また、環境に配慮して、2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPや、自動洗浄小便器、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。災害時に避難所として利用する場合を想定して、車いす使用者やオストメイトに配慮した多機能トイレを設置している。